

予算決算審査委員会報告書

令和7年3月4日

備前市議会議長 西 上 徳 一 殿

委員長 山 本 成

令和7年3月4日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

| 案 件                          | 審査結果 | 少数意見 |
|------------------------------|------|------|
| 議案第1号 令和6年度備前市一般会計補正予算（第10号） | 原案可決 | なし   |



## 予算決算審査委員会記録

|         |             |                |        |             |
|---------|-------------|----------------|--------|-------------|
| 招 集 日 時 | 令和7年3月4日（火） | 本会議休憩中         |        |             |
| 開議・閉議   | 午前10時49分    | 開会             | ～      | 午前11時20分 閉会 |
| 場所・形態   | 委員会室        | 会期中（第1回定例会）の開催 |        |             |
| 出 席 委 員 | 委員長         | 山本 成           | 副委員長   | 奥道光人        |
|         | 委員          | 中西裕康           |        | 土器 豊        |
|         |             | 尾川直行           |        | 守井秀龍        |
|         |             | 立川 茂           |        | 石原和人        |
|         |             | 森本洋子           |        | 青山孝樹        |
|         |             | 藪内 靖           |        | 松本 仁        |
|         |             | 内田敏憲           |        | 丸山昭則        |
|         |             | 草加忠弘           |        |             |
| 欠 席 委 員 |             | なし             |        |             |
| 遅 参 委 員 |             | なし             |        |             |
| 早 退 委 員 |             | なし             |        |             |
| 列 席 者 等 | 議長          | 西上徳一           |        |             |
| 説 明 員   | 総合教育部長      | 畑下昌代           | 教育総務課長 | 杉田和也        |
| 傍 聴 者   | 報道関係        | あり             |        |             |
|         | 一般傍聴        | あり             |        |             |
| 審 査 記 録 | 次のとおり       |                |        |             |

午前10時49分 開会

○山本委員長 ただいまの出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

それでは、直ちに本委員会に付託された議案の審査を行います。

議案第1号令和6年度備前市一般会計補正予算（第10号）について審査を行います。

歳入、歳出、第2表繰越明許費補正、全てを一括して審査を行います。

質疑を希望される委員の発言を許可いたします。

○尾川委員 細部説明書は2月19日に出ているけど、今資料が配付されたけど、もうちょっと早く出ないのか。

総合教育部だけに言わるわけじゃねえけど、全体的な話として。もっと方法を考えてもらうように委員長言うて、これ出すの。早く結論出せというなら少しは協力をしてもらいたい、こっちにも。

○杉田教育総務課長 事業内容が定まっておらず、事前に委員会報告等ができなかったことについては申し訳なく思っております。今後このように御指摘を受けることのないよう努めてまいります。

○守井委員 歳入が国の交付金となっております。この交付金を使うものについては備前市は入学、就職準備金に利用しようということですが、他の自治体ではいろんな政策を考えておられるのか、これ1本みたいな形なのかをお聞きしたい。

○杉田教育総務課長 各自治体によって異なるとは思っておりますが、ただ他市町村の状況まで私は把握できておりません。

○内田委員 ポイント給付使用期間となっておりますが、使用期間は6月末までいいことを理解していいでしょうか。

○杉田教育総務課長 こちらのスケジュールにつきましては、予算をお認めいただけましたら3月中旬をめどにポイント交付が開始できるよう準備を進めてまいります。保護者宛てにアプリポイントの交付、またはアプリポイント登録のない保護者宛てにはポイントカードを郵送します。申請手続は不要とし、ポイントの使用期限は6月末を予定しております。

○土器委員 これ、国からのお金ですわね。そうすると、例えば現金ということは考えられないんですか。

○杉田教育総務課長 こちらにつきましては、電子地域ポイントの付与する事業は物価高騰対策と地域振興を兼ねまして子育て支援策として設けたものでございます。

○中西委員 土器委員がおっしゃられた現金は考えられなかったかというのはどうなんですか。その対象にならないですか、事業としては。

○杉田教育総務課長 こちらのほうは地域振興というポイントのほうは地域振興をよく考えておりまして、ポイント事業で行いたいということで行っております。したがって、現金での給

付は考えておりません。

○中西委員 土器委員も私も言ったのは、現金にするとこの補助対象にならないんですか。

○杉田教育総務課長 現金にした場合、国の補助の対象にならないかという意味でよろしかったでしょうか。

そういったことはないと思います。

○中西委員 ということは、現金でも交付金の対象になるということですね。

○杉田教育総務課長 そのように考えております。

○中西委員 じゃあ、電子地域ポイントにした理由は何ですか。

○杉田教育総務課長 こちらは地域振興を兼ねてということを考えておりまして、そのために備前ポイントで備前の地域で使っていただくということを想定しています。

○中西委員 電子地域ポイントは備前市内で使うから地域振興になるんだというお考えですけども、これは店も限られているし、品数もある一定限定されているということになるんじゃないですか。

○杉田教育総務課長 御指摘のとおりかと思いますが、今後もこの備前ポイントの加入店舗のほうを増やしていきたいということもございますし、こういったポイントのほうで備前市が潤うということを考えております。

○中西委員 今、どのくらいの加入店舗がありますか。

○杉田教育総務課長 今現在手元に資料がございませんので、後ほどお答えさせていただきます。

○中西委員 後ほどお答えするというたら委員会終わってしまいますやん。

これまでも教育委員会1回やっただけじゃなくて、電子地域ポイントが使われてどのくらいの経済的な効果があったんですか。現金のほうが僕は使える店は多いと思う。

○杉田教育総務課長 経済効果がどれくらいあったかというのはなかなか調整の仕方が難しいと思います。ただ、確実に備前市内の店舗で使っていただけるという点は効果があるではないかと思っております。

○中西委員 この電子地域ポイントは、目的のところ入学、就職準備等で大きな出費を伴う世帯への支援だと。つまり何を買ってもいいということになるわけですか。

○杉田教育総務課長 こちらの趣旨といたしましては、新入学の前後に購入する学用品、通学用品等に充てていただくことを想定しておりますが、実際のポイントの用途については利用者にお任せということになるかと思えます。

○中西委員 地域振興でありながら何に使ってもいいということになるんですか。

○杉田教育総務課長 内容としましては先ほど申し上げたとおりでございますが、できるだけ子供たちのために使っていただきたいということは案内文の中に入れていきたいと思っております。

○中西委員 小学生5万ポイント、中学生7万ポイント、新高校生、中学卒業新社会人等10万ポイント、この5万、7万、10万の根拠は何ですか。

○杉田教育総務課長 給付ポイントにつきましては、小・中学校入学生については就学援助制度、新入学学用品費を参考に、中学校卒業者については高校生等教育給付金を参考に必要となる費用を勘案してポイント数を決定しております。

○中西委員 就学援助金はそれぞれ小学生、中学生幾らぐらいですか。

○杉田教育総務課長 小学生が5万7,060円、中学生が6万3,000円、高校生は世帯区分や家族構成によって異なりますが、年間10万円を超える給付の制度設計となっております。

○中西委員 中学校卒業新社会人は、どういうものが基準ですか。

○杉田教育総務課長 中学校卒業生について差をつけるというのはいかがなものかと考えまして、同じ金額といたしております。

○中西委員 今回の財源内訳は国庫支出金100%ですけど、備前市も少し一般財源からお金を搾り出してこの事業がどれだけの効果があったのか、どういうものを買われたのか、一回調査をしてみられてはどうでしょうか。

○杉田教育総務課長 使用された金額につきましては、内容につきましては情報として上がってきますので、調べることは可能かと思っております。

○中西委員 つまり今までのポイント事業を何に使ったかというのは情報は上がってくるから今までの事業を見ることはできるわけですね。

○杉田教育総務課長 私は直接の担当ではございませんが、ほかの事業でも分かるのではないかと考えております。

○森本委員 ポイントを使うので、市内ですから限られてくると思う。でも、皆さんのお話を聞いてたらポイントは使えるところで食費、衣料品なんかに回してその分現金は子供たちのものに充てるという効果的な使い方をきっとされてると思います。店舗数が、なかなか保護者の方が使いたいところでは使えないところもあるかもしれませんので、そこら辺は継続的に店舗数が使いやすいところが増えるように鋭意市役所のほうで努力していただけたらと思いますけど、いかがでしょうか。

○杉田教育総務課長 御指摘のとおりかと思しますので、店舗数が増えていくように働きかけが必要かと考えております。

○藪内委員 期限が6月末ということですが、もう少し延ばしてもいいんじゃないでしょうか。

○杉田教育総務課長 期限は任意で設定できますが、目的が入学時の支援ということになりますので、あまり期限を引き延ばしてもどうかと考えまして限定させていただきました。

○藪内委員 入学時の支援というのは分かるが、ポイントが全部使えるんであればその考えでいいですけど、実際はよそで使わないといけない場合もあったりして、高校とかの場合ですね。そのときはそれに代わってほかのものをポイントを使うわけだから、もう少しゆとりを持ってほか

のものに充てますという感じで、例えば半年は長いかどうか分かんないけど、そういう猶予も持たせてもいいんじゃないでしょうか。

○杉田教育総務課長 御意見ありがとうございます。検討させていただきます。

○藪内委員 今回から。

○杉田教育総務課長 現在、検討は、検討段階では6月ということで設定しておりますが、考える余地はあるのかなと思っておりますので、検討させていただきます。

○尾川委員 これ、特定財源ということで臨時交付金があるということじゃけど、これは国のメニューにあるわけ。小学生、中学生、高校生、その選択理由というか、こういうところへターゲットを上げて出すことはええことじゃけど、そのあたりは国の一つのメニューに沿っていきよんか、それとも備前市の独自で考えてこういう施策を考え出したんかどうかを。

○杉田教育総務課長 こちらの重点支援地方交付金の対象につきましては国で定めておりまして、幾つかのメニューがございます。その中の一つとしてこのエネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援という項目で実施しております。

○尾川委員 この物価高騰と、学習補助というか、子供たちの入学というのとあまり関係ねえんじゃねえん。オーケーもろうとんじゃと思うけど、ただそういう説明すると、ほれやったらガソリン代とか、ほかのいろいろまた年寄りが出しとるけど、何かそういう方法を考えたらどうやるかなと思って問題提起として聞きたい。

○杉田教育総務課長 今回は、子育て支援ということで考えておりまして、小・中学校及びこども園も含めた児童・生徒の支援ということで考えております。

○尾川委員 継続性というのを私は絶対そう思う。来年はどういうふうに担当者とすりゃあお考えなんか、教えてもうたらと思う。

○杉田教育総務課長 今回の事業終了後、その効果や財源の課題等を踏まえて検討するというところで考えております。

○守井委員 1点は、この臨時交付金は各自治体に限度額としてこんだけの金額があるのか、あるいは物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金というのはこの4,310万円以外にも、ほかにもたくさんの事業があって、その中の交付金の中でこの事業を採択したという考えかどうか、その辺まず1点お聞きしたいと思います。

○杉田教育総務課長 こちらの重点支援地方交付金につきましては、備前市につきましては1億345万円の配分を受けているというふうにお聞きしております。

○守井委員 3月中旬ておっしゃってましたけれども、できるだけ早く皆様方のお手元に届くように一日でも早くしていただけるようぜひお願いして、せっかくやっただく事業なんで、喜んでいただけるようお願いしておきますので、よろしくお願いいたします。

○石原委員 いつ頃からこういった事業の検討が始められて、検討の経緯をお聞かせいただければと思います。

○杉田教育総務課長 経緯といいますと、令和6年11月議会の一般質問におきまして、小・中学校へ入学予定の世帯に入学準備金の費用に使える電子地域ポイントの支給に取り組むというようにことが表明されておりまして、さらにそこに高校入学者及び中学卒業新社会人を加えたというところでございます。

○石原委員 財源の交付金ですけども、先ほどお話があったこれも合わせて1億円余り備前市には交付されますよということですけど、交付決定がなされたのはいつ頃だったんでしょうか。

○杉田教育総務課長 令和6年12月7日でございます。

○石原委員 同じ交付金ですけども、この間も一般質問でもお話しして、お隣の瀬戸内市ではこちらの交付金、令和7年度の当初予算に3つほど費目を分けて交付されて、それが総額2億5,000万円余りぐらい交付され、備前市ではどうなのか、どういう状況かなと思うたら先ほど言われた金額、その差もう分かんところですけども、こっから先はまたお尋ねします。

先ほど言われた既にこれまでもあった要保護・準要保護世帯の子供さんはそちらもいただいて、こちらの備前市の電子地域ポイント合わせていただけるということによろしいですね。

○杉田教育総務課長 お見込みのとおりでございます。

○石原委員 次年度以降どういうお考えと言われたんですか。

○杉田教育総務課長 繰り返しになりますが、今回の事業終了後、その効果や財源の課題等を踏まえて検討するという答えでございます。

○中西委員 効果は検証するということですよ。

○杉田教育総務課長 そのようにさせていただきます。

○尾川委員 まだ、通ってねえのに先ほども触れたようにぜひ子育て支援で少子化問題でぜひこういう事業を、財源の問題あるけど、継続してほしい。今年だけの単発じゃなしに継続的にぜひ上に言うて。じゃないと、意味がねえと思う。金があるから配るんじゃないしに子育てとか、要するに支援すると、少子化対策しますというスタンスの問題だと思う。そのためには継続せにゃいけん、ほかのもの切ってでも。

○杉田教育総務課長 担当課として働きかけのほうしてまいりたいと思います。

○中西委員 この物価高騰対策の重点支援金はかなり使われる範囲が広いわけですけども、教育委員会の老朽化した施設とかには全くお考えではないですか。

○杉田教育総務課長 こちらの物価高騰対策につきましては、こういった形で給付のほう行ってまいります。当然、施設の改修とかも大事でありますんで、そちらのほうも順次進めてまいりたいと思っております。

○中西委員 そこには充てる、充ててない。

○杉田教育総務課長 そちらのほうには充てておりません。

○中西委員 こういうのは一時的な国の恐らく対応のお金と思うけども、だとすればこういうようなところで垂れ流しのようにならなくて、教育施設とか、老朽化してなかなか手の届か

ないところ、今回の当初予算でも少しエアコンは入ってましたけども、そういうところへ投資をしておくというのも手ではないかと思うが、どうしてそういうことは考えられなかったんでしょうか。

○杉田教育総務課長 重点支援交付金のメニューの中で施設の整備とか改修というのがございませんので、こういった形で使用したいと考えております。

○中西委員 施設の改修には対象になってない。

○杉田教育総務課長 推奨事業メニューの中にはないように思われます。

○中西委員 スクールバスの改修なんかはなんののですか。入れ替えるだとか。

○杉田教育総務課長 スクールバスについてはどうなのかというのが私も判断がつかねます。

○中西委員 後で教えていただけますか。僕も最初の12月の段階で粗っとしたのだけは出たんですけども、その後細かいのは私も見てませんので、少し見せていただけたらと思います。

○青山委員 先ほど、守井委員のお答えで備前市には1億900万円云々出ていると言われたけど、今回4,310万円を使われるけど、あと残ったものについて何か教育委員会だけじゃないかもしれないけど、教育委員会でも使えるようなものとか、先ほど来ありましたけど、それはなかったんですか。

○杉田教育総務課長 教育委員会としましてはこの事業だけでございます。

○中西委員 例えばほか今まで支援やってるのはありますよね。例えばかばんとか、何かいろいろメニューはたくさんある。それなんかも全く対応にはならないですか。

○杉田教育総務課長 かばん等であれば多分同じく子育て世帯支援のメニューの中に入れることは可能かもしれません。

○中西委員 だったらそういうところを少しこのところで置き換えをして、基金なんかを使わずに、一般会計を使わずに済むようなところがあるという感じはします。

○畑下総合教育部長 そういったあたりも今後研究してまいります。

○杉田教育総務課長 先ほどの備前ポイントの店舗数ですけども、2月1日現在で107店舗ということでした。

○土器委員 ポイントは全部使うかもしれないですけど、残る場合がありますよね。それは備前市の雑収入になるんですか。

○杉田教育総務課長 当然、雑収入にはならないと思っております。

○土器委員 返すんですか。

○杉田教育総務課長 はい。

○石原委員 可決されましたら先ほど3月中旬頃から順次御案内なり、送られるということですけど、送られるその時点に備前市内在住の対象の子供さんということでよろしいですか、基準となるものは。

○杉田教育総務課長 対象者の把握の基準日は3月1日を設定しております。

○山本委員長 引越してもらえということですね。

全体を通して質疑漏れ等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第1号に対する全ての審査を終了します。

これより議案第1号を採決します。

本案は原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○中西委員 執行部も効果は検討したいと言ってるんで、委員会として効果の検証をするようにという附帯決議をつけることはできませんか。

○山本委員長 中西委員、今のは附帯決議の説明でよろしいですか。

○中西委員 はい。

○山本委員長 附帯決議案の説明が終わりました。

これより附帯決議案について質疑のある委員の発言を許可いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を打ち切りまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって質疑を終了します。

議案第1号に対し附帯決議に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

賛成少数であります。よって、附帯決議を付することは否決されました。

以上で予算決算審査委員会を閉会いたします。

皆さん、お疲れさまでした。

午前11時20分 閉会